

中3統一テスト導入決定 大阪府教委 16年度から実施

府は昨年度から公立中学校1、2年生全員対象の統一テストを実施し(毎年1月)、今回の中3生の統一テスト実施で子どもたちは中2の1月の統一テスト、中3の4月

府教委は、これまでの相対評価の内申を来年度の入試から絶対評価に変更するのに伴い、学校ごとに評価基準がばらつくのを防ぎ、評価の公平性を担保するとして学テの学校別結果を内申点に利用する方針を決定していました。しかし文部科学省が学テの内申への利用は実施の趣旨から逸脱すると指摘し、来年度の実施要領に入試利用の禁止を盛り込むとしているのを受け、学テの利用は来年度の入試にとどめておりました。

大阪府教育委員会は27日、教育委員会会議を開き、府内の公立中学3年生全員を対象にした府独自の統一テスト(「中3チャレンジテスト」)を2016年度から実施することを決めました。採決では、6人の委員の中で1人が反対しました。

17年春以降の府立高校入試で全国学力・学習状況調査(学力テスト)結果を内申点に利用することを取りやめる代わりに導入するものです。6月下旬に国語、社会、数学、理科、英語の5教科で実施します。

の学テと半年の間に3度もテストを受けることになります。

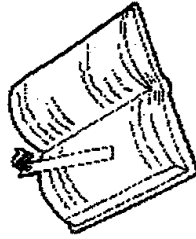
統一テストについては教育関係者から、「全ての中学生を順位付け、学校を序列化することにながる。」「子どもを中学入学直後から厳しい受験競争に駆り立て、教育を歪める。」などの批判の声が上がっています。

**「もう振り回さないで」
度重なる制度の変更に
不安・不満の現場の声**

ある中3の女子生徒は言います。「制度を作る人たちが私たちのことを考えてくれているとは、とても思えません。」1学期、9教科の5段階評価は全て4以上でした

が、学校の学テの成績は府の平均以下でした。そうなるので、学校全体の内申の平均点を低く抑えなければならず、「2学期の自分の内申も下がるかもしれない不安」がぬぐえません。

また、今回学テに代えて入試に使うこととなった府独自の統一テストの実施時期についても疑問の声が上がっています。府教委が実施を目指す6月は修学旅行のシーズンで、変更が難しい状況の中、府教委はテストに参加できない学校の扱いは今後協議するとしています。加えて「3年生は夏休みを境に成績を伸ばす子が多い。テストは2学期にすべきではないか。」という進路指導担当の先生の声もあります。「入試制度の変更は生徒への影響が大きい。これ以上振り回さないでほしい。」



ぜひ参加しよう!

教育のつどい大阪2015

☆教科別分科会

2016年1月17日(日)

9時30分～

高槻市立桃園小学校

☆問題別分科会

2016年1月24日(日)

9時30分～

茨木市立東中学校

府教委関係者によると、6月実施は「消去法」で浮上したと言います。

4月は全国学力・学習状況調査(学テ)、5月は中間テスト、7月は期末テストが多く、学校であります。試験の準備期間を考えると1学期中に実施しようとするれば6月実施しかないというのです。それでは前述の進路指導担当者の言うように2学期実施してはどうでしょう。しかし、2学期実施だとテスト結果を生徒に返すのが11月頃となり、進路相談などに支障の出る可能性が高くなるというのです。

私たちは、今回導入されようとしている府独自の学力テストは、教育を歪めるものであり、実施しないことを府教委に対して強く求めます。

子どもたちの成績評価については、府の評価基準を市町村や学校に押し付けず、学校の自主性を尊重すべきです。

学校教育に競争と強制を持ち込むような制度改革ではなく、全ての子どもたちの成長を大切にし、ながら学力の向上を目指すことこそが、今の教育にとって本当に大切なことなのではないでしょうか。

教職員の生活と権利を守るため、泉北教組に加入してください。